

## 平成29年度第3回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成30年1月16日(火)  
午前10時から午前11時

場 所 茂原市役所102会議室

出席者 委 員 17名

西條委員、久我委員(代理:平野)、大木委員、木嶋委員、田中委員、米川委員、土屋委員、花崎委員、中村委員、向後委員、田邊委員(代理:重條)、廣田委員、岡崎委員(代理:池田)、中村委員、板倉委員、鶴岡委員、正林委員

事務局 5名

都市計画課 河野次長、白井補佐、大橋係長、紺野、進

会議内容(進行:白井補佐)

### 1 開会 午前10時

要綱第7条第2項に基づき、出席委員17名で過半数に達しており会議成立。

### 2 会長あいさつ

### 3 議事

要綱第7条第1項に基づき、会長が議長となる。

#### (1) デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

事務局よりデマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について説明

<質疑>

委 員: 圧倒的に豊田地区の利用者が多いのだが、具体的な行先を教えてください。

事務局: 現状、豊田地区の利用者の具体的な行先は把握していない。

委 員: 高齢者の利用が増加している。将来的に考えた場合、高齢者人口の動きも含め考えて頂きたい。

事務局: 資料1のP3の利用者件数の表に運転経歴と記載されている。これは、運転経歴証明書所持者の利用を表したものである。平成25年下半期と平成27年上半期以降に利用があった。運転経歴証明書所持者の利用者は、女性よりも男性のほうが多かった。運転経歴証明書所持者は、今後増えてくると推測される。

委員：利用者が増えていることは、役に立っていると理解できる。

採決の結果、賛成多数により承認。

## (2) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について

事務局より平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について説明

### <質疑>

委員：市民バスの有料広告の収入はどのくらいあったのか。

事務局：有料広告について、平成29年度の4月から3月までの掲載に対する費用は、1台が12か月分で36万円。もう1台が車両更新により導入直後の4月の1か月間は掲載ができなかったため、11か月分で33万円。合計69万円の収入である。

委員：定量的な目標・効果で、市民バスの1日当たりの利用者数が106人と記載しているが、この数値はどのように算出したのか。

事務局：資料集P6の目標2で、1日の推計値を98人としている。この推計値に係数(H18:21, 552人÷H23:16, 249人)をかけ130人を目標としている。この数値は、デマンドと市民バスの合計の人数であり、内訳はデマンドが24人、市民バスは106人である。なお、平成30年度(平成29年10月)からの目標値は、前回の交通会議のなかで設定しており、資料集のP11に記載のとおり、市民バス・デマンドの新たな目標値を110人としている。

委員：他市町村でも市民バスやデマンドを行っている。参考に他市町村の利用実績等を調査して頂きたい。

事務局：前回の交通会議で他市町村の調査・分析を行っており、運行計画の見直しにあたり参考にしたところである。

## (3) その他

事務局より高速バス実証運行の概要について説明

### <質疑>

委員：木更津アウトレットの年間利用者数は把握しているか。

事務局：把握していない。

委員：先程の市民バスの有料広告の件で質問がある。広告収入は大きいので車内に広告スペースをもう少し増やせないか。また、デマンドのタクシー車両が固定されていれ

ば、運転席の後ろなど出来るだけ活用できないか。高齢者が多いので、病院施設や介護施設からの有料広告掲載は見込めるのではないか。

事務局：市民バスの車外広告スペースはすべて活用している。車内広告は4枠あるが、応募がない状況である。デマンドタクシーの有料広告について、現状においては想定していない。できるかどうか検討していきたい。

- 4 前回の会議概要について訂正等があれば2月2日（金）までの連絡を依頼。  
また、次回の会議開催時期について、次年度の6月頃を予定していることを連絡。

- 5 閉会 午前11時